

令和8年3月27日

県外における麻しん患者の発生に伴う注意喚起について

～麻しんと思ったら、事前に医療機関へ連絡して受診してください～

1 概要

令和8年3月25日（水）、鹿児島市保健所管内において麻しん患者が1名報告され、疫学調査により、感染の可能性がある期間に、大分県内の不特定多数の方が利用する施設を以下のとおり利用していることが判明しましたので、感染拡大防止のために注意喚起を行います。

2 患者が利用し、不特定多数の方と接触した可能性のある日時及び施設

日付	時間（目安）	利用施設
3/20（金）	12:00～13:00	大分県立美術館 （大分県大分市寿町2-1）
	13:30～14:00	餃子の王将 コムボックス大分店 （大分県大分市宮崎696-1）
	15:00～16:00	昭和ロマン蔵 （大分県豊後高田市新町989-1）

上記の日時に施設を利用した方で、当該日時から21日以内（4月10日まで）に発熱、発しん等、麻しんを疑う症状が現れた場合は、速やかに最寄りの保健所にご相談ください。

また、受診に際しては、事前に医療機関へ電話で連絡をし、上記日時に当該施設の利用歴があり、麻しんの可能性がある旨を伝えてください。医療機関へ向かう際は、マスクを着用し、公共交通機関の利用は控えていただき、周囲の方への感染拡大防止にご協力をお願いします。

3 麻しんについて

麻しんは、感染力が非常に強い感染症で、麻しんウイルスの感染によって引き起こされます。感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、10～12日の潜伏期を経て、発熱、せき、全身性の発しん、結膜充血等の症状が出現します。また、肺炎や脳炎などの合併症を引き起こすこともあります。麻しんに対する免疫がない方が患者と接触すると、ほとんどの方が麻しんにかかります。

麻しん患者と接触した方は、発病までの期間を考慮し、接触後最大21日間の健康観察が必要です。症状や経過から麻しんが疑われる場合は、事前に医療機関にその旨を連絡し、マスクの着用を徹底いただくとともに、周囲の方へ感染を拡げないように、公共交通機関の

利用を避けてください。

なお、麻しんに対する免疫は持っているものの免疫が不十分な方が感染した場合、軽症の麻しんを発症することがあり、修飾麻しんと呼ばれています。これは潜伏期間の延長、高熱が出ない、発熱期間が短いなどの特徴が見られ、典型的な麻しんに比べて、感染力は弱いとされています。

(参考)

単位 (人)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
全国	744	10	6	6	28	45	265	139 ^{*1}
大分県	1	0	0	1	0	0	2	0 ^{*2}

*1 2026年第11週(3月9日～3月15日)までの速報値, *2 2026年3月27日時点

4 感染予防対策について

麻しんは空気感染するため、手洗いやマスクのみでは防ぐことができません。予防接種によってあらかじめ麻しんに対する免疫を獲得しておくことが最も有効な予防方法です。

定期予防接種(第1期:1歳児、第2期:小学校入学前の1年間の幼児)がまだの方は、予防接種を受けましょう。予防接種について、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

5 海外へ渡航される方へ

自身の予防接種歴を確認し、接種を受けていない予防接種がある場合は、予防接種を受けることを検討してください。

帰国後に発熱・発しん等の症状が出現した場合は、必ず事前に医療機関へ連絡をし、マスクを着用して受診してください。なお、移動の際は、周囲の方への感染を拡げないため、公共交通機関の利用は避けてください。

【報道機関の皆様へお願い】

今回の情報提供は、患者が利用し、不特定多数の方と接触した可能性のある日時及び施設の公表することで、広く麻しんに対する啓発と注意喚起を目的に行うものであり、当該施設の利用を制限するものではありません。

報道機関各位におかれましては、プライバシー保護の観点から、患者及び患者家族、接触者等について特定されないことがないよう、同様に、公表施設についても風評被害とならないよう格段のご配慮をお願いいたします。

【問合せ先】

大分県福祉保健部健康政策・感染症対策課
感染症対策班 佐藤、北川
電話:097-506-2863



あなたとわくわく
マグマシティ
鹿児島市

- 提供日 令和8年3月27日（金）
- 表題 麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起
- 取材対応者 感染症対策課 課長 上栗 美幸
Tel803-9540 （内線）2830 別館3階
【担当：係長 永田 修一郎 Tel803-7023 （内線）2863】



鹿児島市
報道提供資料

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起

鹿児島市内の医療機関から麻しん（五類感染症）の発生届出があり、遺伝子検査の結果、3月26日に1例の陽性が確定しました。感染性があると考えられる期間に、不特定多数の人との接触が確認されましたので、注意喚起のため、広く情報提供します。

1 患者の情報

本年	患者情報	感染経路
23 例目	<p>【患者概要】 40代女性、市内在住、予防接種歴不明</p> <p>【発症日等】 発症日：3/15（日）に発熱が出現（3/18 解熱）</p> <p>発生届：3/25（水）、26日（木）陽性確定</p> <p style="text-align: center;">※修飾麻しん</p> <p>症状：発熱、発疹</p>	調査中

2 感染性があると考えられる期間（発症前日から解熱後3日間）の不特定多数の人との接触状況

日にち	施設名	詳細（滞在時間等）
3/14（土）	白波スタジアム	・12時～17時頃
3/15（日）	イオンモール鹿児島店	・10時～12時頃
3/20（金）	大分県立美術館	・12時～13時頃
	餃子の王将コムボックス大分店	・13時30分～14時頃
	昭和ロマン蔵	・15時～16時頃
3/21（土）	慈母大観音	・9時20分～10時20分頃
	ショット久留米店	・10時40分～11時10分頃
	鳥栖プレミアムアウトレット	・12時～13時30分頃
	宮原サービスエリア（下り）	・16時30分頃（15分程滞在）

3 市民の皆様への注意喚起等

- ①麻しんを疑う症状（発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血等）が現れた場合は、**必ず事前に医療機関へ連絡の上、受診してください。受診の際はマスクを着用し、公共交通機関の利用を控えてください。**
- ②麻しんの予防には、予防接種が最も有効な予防方法の1つです。
麻しんの定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けてください。
- ③麻しんウイルスの**空気中での生存期間は2時間以下とされ、現時点で施設等を利用しても感染の心配はありません。**
- ④**施設等への直接のお問い合わせはお控えください。感染症法の趣旨に則り、個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、また、施設等に対**

する風評被害がないよう特段のご配慮をお願いいたします。

4 麻しんについて

(1) 麻しんとは

麻しんは、感染症法で五類に分類されており、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。

麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

(2) 麻しん予防のために

- ・ 予防接種は最も有効な予防策の1つです。
- ・ 定期予防接種対象者（1歳と小学校入学前1年間の幼児）は早めに予防接種を受けてください。
- ・ 予防接種歴がわからない、麻しんにかかったかどうかわからない場合は、抗体検査やワクチン接種を検討してください。
- ・ 妊娠している場合、ワクチンの接種を受けることはできません。流行時は外出を避け、人ごみに近づかないなど、注意が必要です。
- ・ 外出後の手洗い、うがいや咳エチケットなどに気をつけてください。

〔麻しんの定期予防接種制度の変遷〕

1972(昭和47)年10月1日以前生まれの男女	接種なし
1972(昭和47)年10月2日～ 1990(平成2)年4月1日生まれの男女	個別接種1回
1990(平成2)年4月2日以降生まれの男女	個別接種2回

※2006(平成18)年4月1日から麻しん風しん混合ワクチンが定期接種に導入され、同年6月2日から2回接種（1歳時の第1期、小学校入学前1年間の第2期）が開始されています。

(3) 麻しんの発生状況（令和8年3月26日現在）

年	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
鹿児島市	0	0	0	0	0	0	0	2	23
鹿児島県(本市含む)	0	1	0	0	0	0	0	2	24
全国(鹿児島県含む)	279	744	10	6	6	28	45	265	152

(全国は3月22日時点)

あなたとわくわく マグマシティ 鹿児島市